

三島市市民意識調査

# 91%が「住みやすい」

## 「幸福感」とともに過去最高



「住みやすい」や「幸福感」が高い三島市(提供写真)

### 「公園・水辺空間の整備」満足率上昇

三島市は28日、本年度市民意識調査の結果を発表した。新型コロナウイルス感染症拡大中の5月に実施され、外出自粛などの影響を受け、市民が地元を再認識する結果となった。有効回答率や「住みやすい」「幸福感」が過去最高の数値を示し、地域の施設や自身の健康に対する関心度も高まった。

同調査は、5月13日～31日に、市民2千人を対象に実施した。有効回答者の割合は、2017年度58・5%、18年度55・8%、19年度54・3%と減っていたが、今年度は63・9%にアップした。

設問では「住みやすさ」を「非常に住みやすい」「どちらかといふと住みやすい」と答えた割合は91・7%と増の63・0%だった。

「幸福感」は、前年比で0・12増の6・94。その判断基準は、これまで1位だった「家族関係」を抜いて「健康状況」(66・9%)が最も高かった。満足率は、前回4位だった「公園・水辺空間の整備」が2位に浮上。前年比で15・8%増の63・0%だった。